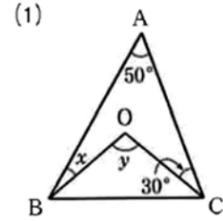


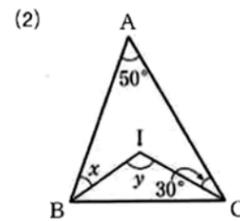
高校数学基礎 単元テスト (図形)

氏名 _____ 得点 _____ / 100

1 △ABCの外心をO, 内心をIとする。図のx, yを求めよ。(各3点)

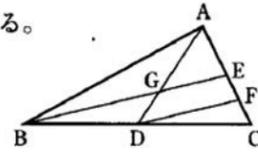


(1) x = _____ y = _____



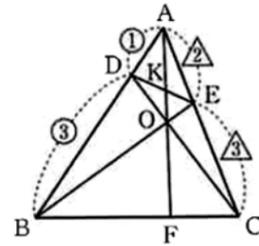
(2) x = _____ y = _____

2 △ABCにおいて、点D, Eはそれぞれ辺BC, CAの中点で、BE//DFである。また、GはADとBEの交点である。このとき、GE:DFを求めよ。(3点)



_____ :

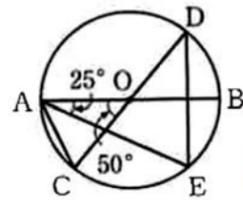
3 △ABCにおいて、ABを1:3の比に内分する点をD, ACを2:3の比に内分する点をEとする。BEとCDの交点をO, AOの延長とBCの交点をF, AOとDEの交点をKとするとき、次の比を求めよ。(各3点)



(1) BF:FC (2) AO:OF (3) DK:KE

(1) _____ : _____ (2) _____ : _____ (3) _____ : _____

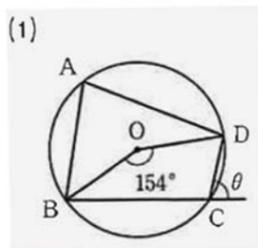
4 右の図で、AB, CDは円Oの直径である。∠AOC=50°, ∠BAE=25°であるとき、次の角の大きさを求めよ。(各3点)



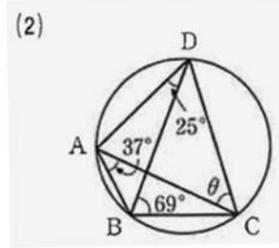
(1) ∠CDE (2) ∠AED

(1) _____ (2) _____

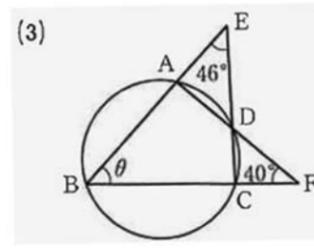
5 下の図で、角θを求めよ。ただし、Oは円の中心である。(各3点)



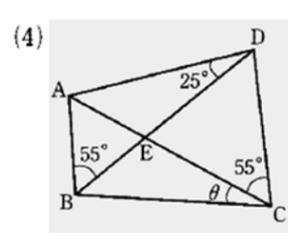
(1) _____



(2) _____



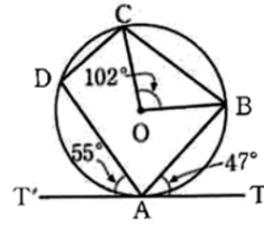
(3) _____



(4) _____

6 次の問いに答えよ。

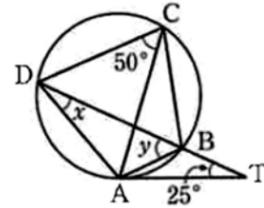
(1) 右の図で、四角形 ABCD は円 O に内接し、TT' は A を接点とする円 O の接線である。四角形 ABCD の 4 つの内角を求めよ。(各3点)



$\angle A = \underline{\hspace{2cm}}$ $\angle B = \underline{\hspace{2cm}}$ $\angle C = \underline{\hspace{2cm}}$ $\angle D = \underline{\hspace{2cm}}$

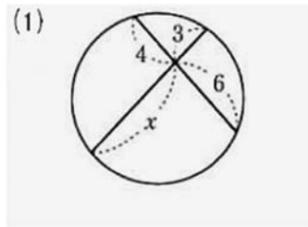
(2) 右の図において、角の大きさ x, y を求めよ。

ただし、直線 AT は A を接点とする円の接線である。(各3点)

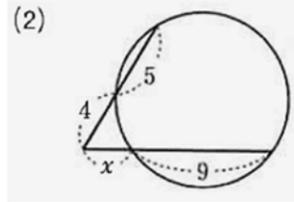


$x = \underline{\hspace{2cm}}$ $y = \underline{\hspace{2cm}}$

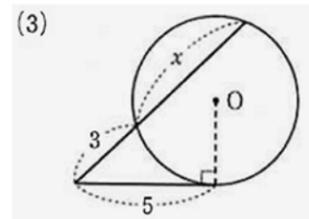
7 次の図で、 x を求めよ。(各3点)



(1) $\underline{\hspace{2cm}}$

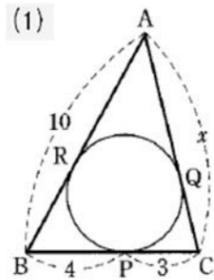


(2) $\underline{\hspace{2cm}}$

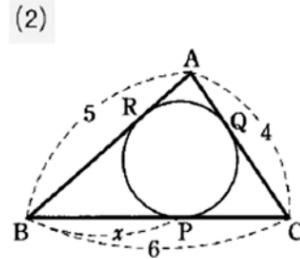


(3) $\underline{\hspace{2cm}}$

8 次の図で、 x を求めよ。ただし、 $\triangle ABC$ の内接円が辺 BC, CA, AB と接する点をそれぞれ、P, Q, R とする。(各3点)



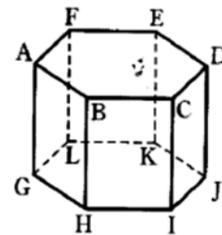
(1) $\underline{\hspace{2cm}}$



(2) $\underline{\hspace{2cm}}$

9 右の図の正六角柱 ABCDEF-GHIJKL において、次の 2 直線のなす角 θ を求めよ。ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ とする。(各3点)

- (1) AB, KL (2) AD, IK
 (3) AB, GI



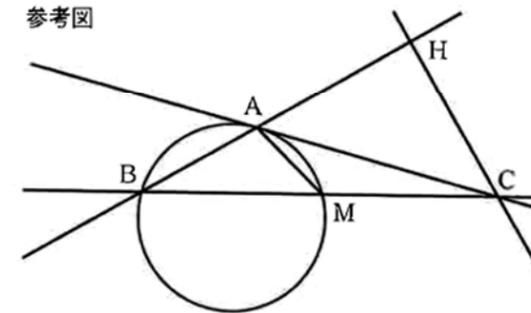
(1) $\underline{\hspace{2cm}}$

(2) $\underline{\hspace{2cm}}$

(3) $\underline{\hspace{2cm}}$

10 $\triangle ABC$ において、 $\angle A$ は鈍角で、 $\angle B=30^\circ$ である。点 C から直線 AB に引いた垂線と直線 AB との交点を H とする。辺 BC の中点を M とし、直線 AC は 3 点 A, B, M を通る円と点 A で接しているとする。下の [ア]~[ウ], [オ], [ク] については、最も適当なものを次の ①~⑦ のうちから 1 つずつ選べ。(各2点)

- | | | |
|---------|------------|----------|
| ① 鋭角三角形 | ④ 直角二等辺三角形 | ⑦ 二等辺三角形 |
| ② 正三角形 | ⑤ 直角三角形 | |
| ③ ABC | ⑥ AMB | ⑧ HMC |
| ④ MAB | ⑦ MCA | |
| ⑤ AB | ⑧ AC | ⑨ AM |
| ⑥ BC | ⑨ BH | ⑩ CH |



直角三角形 HBC において $\angle HBC=30^\circ$ なので、 $BC=2[\text{ア}]$ である。
 一方 $\angle MAC=\angle[\text{イ}]$ なので、 $\triangle MAC$ と $\triangle[\text{イ}]$ は相似になる。したがって $AC^2=MC \cdot [\text{ウ}]$ となる。M は辺 BC の中点なので $AC=\sqrt{[\text{エ}]}CH$ が成り立つ。
 したがって $\triangle HAC$ は $[\text{オ}]$ であり、 $\angle AMB=[\text{カキ}]^\circ$ となる。
 AC と HM の交点を K、直線 BK と HC の交点を L とする。 $\triangle HBK$ と $\triangle BCK$ の面積比は HL : LC であり、 $\triangle CHK$ と $\triangle BCK$ の面積比は $\triangle CHK : \triangle BCK = HA : [\text{ク}]$ である。また、M は辺 BC の中点だから、 $\triangle HBK$ と $\triangle CHK$ の面積は等しい。ゆえに、 $HL : LC = HA : [\text{ク}]$ が成り立つ。
 したがって $\triangle HAL$ と $\triangle HBC$ の面積比は $\triangle HAL : \triangle HBC = 1 : [\text{ケ}]$ となる。

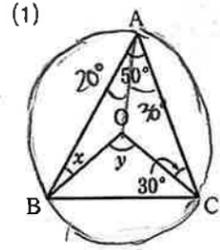
(センター試験)

ア $\underline{\hspace{2cm}}$ イ $\underline{\hspace{2cm}}$ ウ $\underline{\hspace{2cm}}$ エ $\underline{\hspace{2cm}}$ オ $\underline{\hspace{2cm}}$
 かつ $\underline{\hspace{2cm}}$ ク $\underline{\hspace{2cm}}$ ケ $\underline{\hspace{2cm}}$

高校数学基礎 単元テスト (図形)

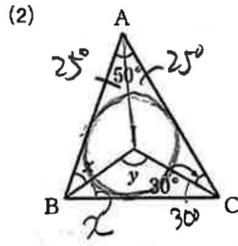
氏名 _____ 得点 _____ / 100

1 △ABCの外心をO, 内心をIとする。図のx, yを求めよ。(各3点)



$$y = x + 30 + 30 = 100$$

(1) $x = 26^\circ$ $y = 100^\circ$



$$2x = 180 - (50 + 60) = 70$$

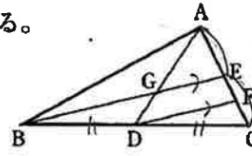
$$x = 35$$

$$y = 50 + x + 30 = 115$$

(2) $x = 35^\circ$ $y = 115^\circ$

2 △ABCにおいて、点D, Eはそれぞれ辺BC, CAの中点で、BE//DFである。また、GはADとBEの交点である。このとき、GE:DFを求めよ。(3点)

2:3

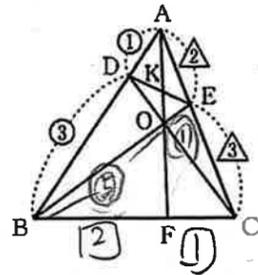


Gは△ABCの重心
 $\Rightarrow AG:GD=2:1$
 $\triangle AGE \sim \triangle DGF$
 $\frac{AG}{GD} = \frac{GE}{DF} = 2:1$
 $\Rightarrow GE:DF = 2:3$

3 △ABCにおいて、ABを1:3の比に内分する点をD, ACを2:3の比に内分する点をEとする。BEとCDの交点をO, AOの延長とBCの交点をF, AOとDEの交点をKとするとき、次の比を求めよ。(各3点)

- (1) BF:FC (2) AO:OF (3) DK:KE

(1) 2:1 (2) 1:1 (3) 5:4



4 右の図で、AB, CDは円Oの直径である。

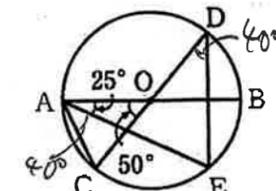
∠AOC=50°, ∠BAE=25°であるとき、次の角の大きさを求めよ。(各3点)

- (1) ∠CDE (2) ∠AED

(1) 40° (2) 65°

$$\angle OAC = \frac{1}{2}(180 - 50) = 65^\circ$$

$$\therefore \angle CAE = 65 - 25 = 40^\circ = \angle CDE$$

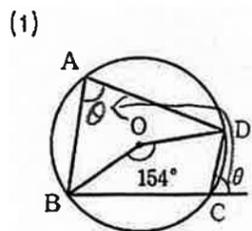


$$\angle AED + \angle CDE + \angle EAB = \angle AOD = 130^\circ$$

$$\therefore \angle AED + 40^\circ + 25^\circ = 130^\circ$$

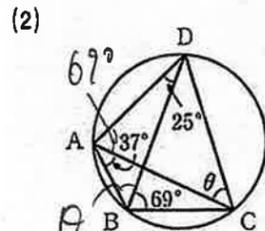
$$\angle AED = 65^\circ$$

5 下の図で、角θを求めよ。ただし、Oは円の中心である。(各3点)



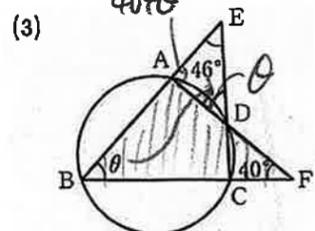
$$\theta = 154 \times \frac{1}{2} = 77^\circ$$

(1) 77°



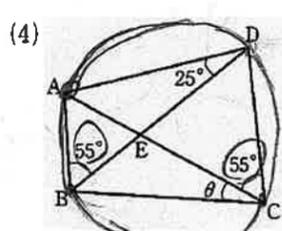
$$180 - (69 + 37 + 69) = 49^\circ$$

(2) 49°



$$40 + \theta + \theta + 46 = 180$$

(3) 47°



(4) 25°

A, B, C, Dは同一円周上にあり、

3 (1) 相似の定理より (2) ヌワグスの定理より (3) ヌワグスの定理より

$$\frac{AD}{DB} \times \frac{BF}{FC} \times \frac{CE}{EA} = 1$$

$$\frac{1}{3} \times \frac{BF}{FC} \times \frac{3}{2} = 1$$

$$\frac{BF}{FC} = \frac{2}{1}$$

$$\frac{AE}{EC} \times \frac{CB}{BF} \times \frac{FO}{OA} = 1$$

$$\frac{2}{3} \times \frac{3}{2} \times \frac{FO}{OA} = 1$$

$$\frac{FO}{OA} = 1$$

(3) ヌワグスの定理より

$$\frac{BF}{FC} \times \frac{CA}{AE} \times \frac{EO}{OB} = 1$$

$$\frac{2}{1} \times \frac{5}{2} \times \frac{EO}{OB} = 1$$

$$\frac{EO}{OB} = \frac{1}{5}$$

ユワグスの定理より

$$\frac{FO}{OB} \times \frac{BA}{AD} \times \frac{DK}{KE} = 1$$

$$\frac{1}{5} \times \frac{4}{1} \times \frac{DK}{KE} = 1$$

$$\frac{DK}{KE} = \frac{5}{4}$$

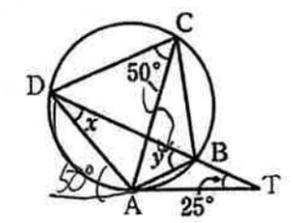
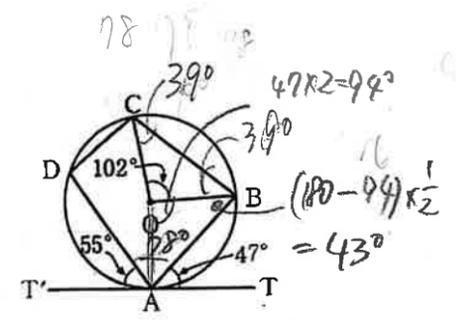
6 次の問いに答えよ。 ¹⁰²

(1) 右の図で、四角形 ABCD は円 O に内接し、TT' は A を接点とする円 O の接線である。四角形 ABCD の 4 つの内角を求めよ。(各 3 点)

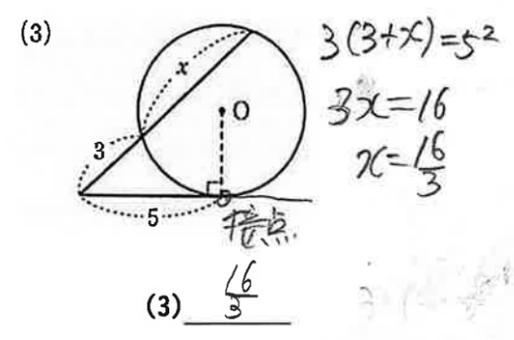
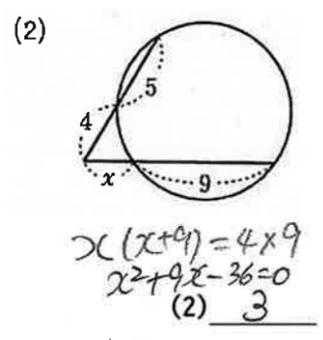
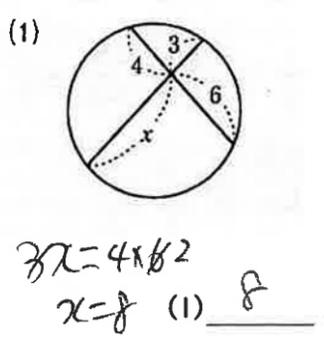
$\angle A = 78^\circ$ $\angle B = 82^\circ$ $\angle C = 102^\circ$ $\angle D = 98^\circ$
 $(180 - (55 + 47)) = 78$ $39 + 43$ $(180 - \angle A)$ $(180 - \angle B)$

(2) 右の図において、角の大きさ x, y を求めよ。ただし、直線 AT は A を接点とする円の接線である。(各 3 点)

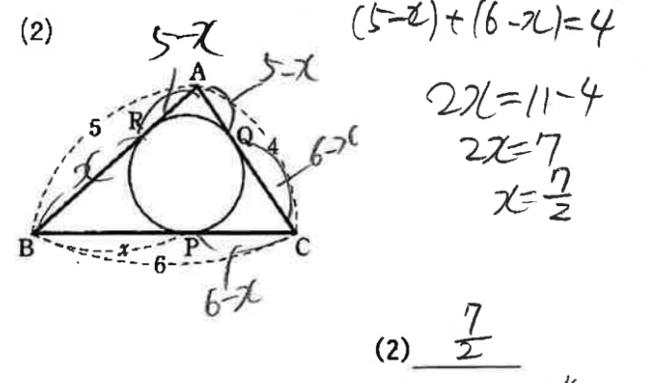
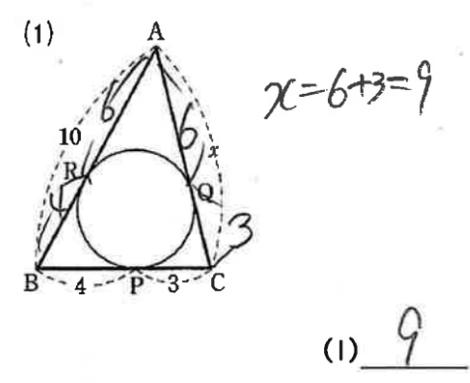
$x + 25 = 50$
 $x = 25$ $y = 50$



7 次の図で、 x を求めよ。(各 3 点)



8 次の図で、 x を求めよ。ただし、 $\triangle ABC$ の内接円が辺 BC, CA, AB と接する点をそれぞれ P, Q, R とする。(各 3 点)



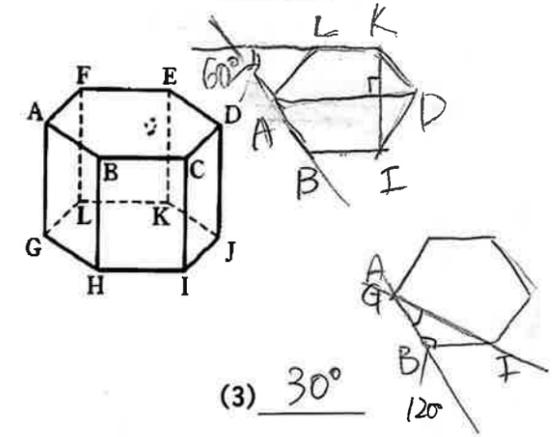
9 右の図の正六角柱 ABCDEF-GHIJKL において、次の 2 直線のなす角 θ を求めよ。ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ とする。(各 3 点)

- (1) AB, KL
- (2) AD, IK
- (3) AB, GI

(1) 60°

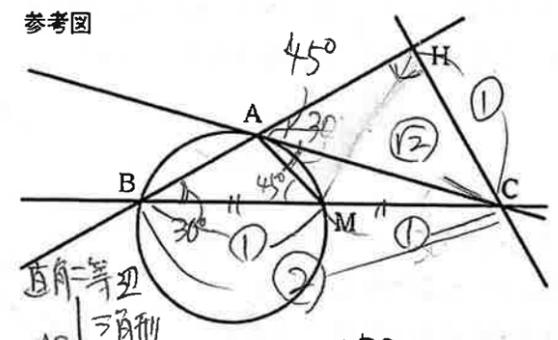
(2) 90°

(3) 30°



10 $\triangle ABC$ において、 $\angle A$ は鈍角で、 $\angle B = 30^\circ$ である。点 C から直線 AB に引いた垂線と直線 AB との交点を H とする。辺 BC の中点を M とし、直線 AC は 3 点 A, B, M を通る円と点 A で接しているとする。下の [ア] ~ [ウ], [オ], [ク] については、最も適当なものを次の ① ~ ⑩ のうちから 1 つずつ選べ。(各 2 点)

- ① 鋭角三角形
- ② 直角二等辺三角形
- ③ 正三角形
- ④ 直角三角形
- ⑤ ABC
- ⑥ AMB
- ⑦ HMC
- ⑧ MAB
- ⑨ MCA
- ⑩ AC
- ⑪ BH
- ⑫ AM
- ⑬ CH



直角三角形 HBC において $\angle HBC = 30^\circ$ なので、 $BC = 2 \times \text{ア}$ である。一方 $\angle MAC = \angle \text{イ}$ なので、 $\triangle MAC$ と $\triangle \text{イ}$ は相似になる。したがって $AC^2 = MC \cdot \text{ウ}$ となる。M は辺 BC の中点なので $AC = \sqrt{\text{エ}} \cdot CH$ が成り立つ。したがって $\triangle HAC$ は オ であり、 $\angle AMB = \text{カキ}$ となる。AC と HM の交点を K、直線 BK と HC の交点を L とする。 $\triangle HBK$ と $\triangle BCK$ の面積比は HL : LC であり、 $\triangle CHK$ と $\triangle BCK$ の面積比は $\triangle CHK : \triangle BCK = HA : \text{ク}$ である。また、M は辺 BC の中点だから、 $\triangle HBK$ と $\triangle ABM$ の面積は等しい。ゆえに、 $HL : LC = HA : \text{ク}$ が成り立つ。したがって $\triangle HAL$ と $\triangle HBC$ の面積比は $\triangle HAL : \triangle HBC = 1 : \text{ケ}$ となる。

$\triangle HBK = \triangle BCK = \triangle CHK$
 $HL : LC$
 $AB : HA$
 $HL : LC$
 $\triangle HBK = \triangle BCK = HL : LC$
 $\triangle CHK = \triangle BCK = HA : AB$
 $\triangle HBK : \triangle CHK = 1 : 1$
 $HL : LC = HA : AB$
 $\Rightarrow AL \parallel BC$
 $\triangle AHL$ の $\triangle HBC$ (ア) $1 : \sqrt{3}$
 $AC^2 = \text{イ} \times \text{ウ} = \text{エ}$ (イ) $1 : 3$

- ア ⑦ イ ⑤ ウ ⑩ エ 2 オ ①
 カ 45 ク ⑧ ケ 3